

INSTRUCTION MANUAL

重要

このフィルターを組み立ておよび使用前には、取扱説明書全体をよく読んで理解してください。この取扱説明書は、後日参照できるように大切に保管してください。この取扱説明書の説明で不明な点や、ご質問等がある場合は、Cascade Designs まで電話 (+1-800-531-9531) でご連絡ください。

警告

消毒されていない水を飲むことの危険について

消毒されていない水に対する浄水フィルターの使用には、危険が伴う場合があります。処理されていない水を飲んだ場合、有害な微生物を摂取することになり、消化器中毒を起こす恐れがあります。フィルターの使用が不適切な場合も、有害な微生物を摂取することになり、消化器中毒を起こす恐れがあります。このマニュアルに記載されている警告や指示に厳密に従い、未処理の水の飲用方法についての正しい知識を得ることにより、中毒等の危険をできるだけ避けてください。

自らの安全、およびグループメンバーの安全については、ご自身で責任を負ってください。適切な判断が常に求められます。

海水、鉱山の廃石池からの水、大規模農場近くなど化学物質で汚染されている可能性のある水等のろ過には、AutoFlowを決して使用しないでください。AutoFlowは、このような水源の水を飲用水に変えることはできません。またウイルス、化学物質、放射性物質、0.2 μ以下の微粒子を除去することもできません。

二次汚染を防ぐため、取水ホースなど汚染の可能性のある部品を、ろ過済みの水に接触させないでください。

すべて読んで充分理解し、それに従ってください。警告および指示に従わない場合、消化器中毒の恐れがあります。

AUTOFLOW™ GRAVITY マイクロフィルター取扱説明書

AutoFlow™ マイクロフィルターは、中空糸膜技術を利用し水中の病原菌や原生動物と共に微粒子を除去するものです。トレイルショット マイクロフィルターはウイルスを除去することはできません。

マイクロフィルターの部品:

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| A. ハングバックル | G. クイックディスコネクト接続金具メス | L. 取水用リザーバー |
| B. クロージャーストラップ | H. 浄水前の取水用ホース差込口(黒) | M. 汎用ボトルアダプター |
| C. ハングストラップ | I. フィルターカートリッジ | N. シャットオフクランプ |
| D. クロージャープックル | J. 清水用ホース差込口(白) | O. 清水用ホース(122 cm) |
| E. プレフィルタースクリーン | K. 取水用ホース(30 cm) | P. 清水側カバー |
| F. クイックディスコネクト接続金具オス | | |

重要事項:

- フィルター内の沈泥の堆積を防ぎフィルターが長く使用できるように、カートリッジを8 L 毎および毎日バックフラッシュでクリーニングしてください(取扱説明書のステップ4を参照)。バックフラッシュを行っても水量が回復できない場合は、カートリッジを交換してください。
- 長期旅行には、予備カートリッジをお持ちください。カートリッジは、各地の取扱店またはMSRのオンラインストアでお求めいただけます。
- できる限りきれいで透明な水を使用してください。
- 沈殿物のある水や濁った水は、ろ過しないでください。フィルターがすぐに目詰まりします。
- 透明な水がない場合は、ろ過する前に微粒子を沈殿させてください。取水用リザーバーを水で満たし、微粒子が底に沈殿するまでそのままにします。クイックディスコネクト接続金具メスの背後にあるプレフィルタースクリーンを、必要に応じてきれいにします。
- 水中ウイルスの存在が疑われる水の処理には、Aquatabs®のような承認されている殺菌剤を使用してください。詳しい情報については、米国疾病対策センター(CDC)のホームページwww.CDC.gov. からご覧いただけます。
- 流量を最大にするには、ホースがピンと張らず清水用の水容器が地面から離れないようにして、取水用リザーバーをできるだけ高い位置に吊ります。
- フィルターカートリッジ上部に気泡があると、流量が減る可能性があります。清水用水容器に水(250 cc程度)をろ過してから、水が逆流するよう、清水用水容器を取水用リザーバーより上になるよう持ち上げ(ホースがよじれていない状態)気泡を除去します。気泡が除去できたら、清水用水容器を下に置き、水のろ過を続けます。

1. AUTOFLOW システムを組み立てる 1. 取水用ホース(K)の開いているほうの端を、黒の取水用ホース差込口(H)に接続します。(注意: フィルターカートリッジ(I)の矢印(流水の方向)が、清水用の水容器の方を指している必要があります。) 2. 清水用ホース(O)を白の清水用ホース差込口(J)に接続します。3. 清水用ホースの開いている方の端を汎用ボトルアダプター(M)に接続します。4. 清水側カバーを外し、汎用ボトルアダプターに清水用の水容器を取り付けます。5. 清水用ホースのシャットオフクランプ(N)を閉じます。

警告 フィルターカートリッジの取り扱いには充分ご注意ください。フィルターを損傷すると、有害な微生物を取り除くことができなくなります。フィルターを1.5 m以上の高さから硬い面に落とした場合、損傷がないかどうかフィルターをテストしてください(フィルターテストガイド参照)。フィルターを損傷した場合、直ちに使用を中止してカートリッジを交換してください。

2. 水のろ過 1. クイックディスコネクト接続金具オス(F)を取水用リザーバー(L)上にあるクイックディスコネクト接続金具メス(G)から外します。2. 取水用リザーバーにろ過していない水を入れます。3. クロージャーストラップのバックルを留めます。4. 取水用リザーバーをハングストラップ(C)で吊ります。(注意: 取水用リザーバーは、できるだけ高い位置に吊りますが、ホースがピンと張らず清水用の水容器が地面から離れないよう、注意してください。) 5. クイックディスコネクト接続金具オスを再度取り付けます。6. シャットオフクランプ(N)を開いて水を流します。取水用リザーバーからフィルターカートリッジ(I)を通り、清水用の水容器に水を流してろ過します。(注意: フィルターカートリッジに気泡があると、水流に影響します。清水用水容器に水(250 cc程度)をろ過してから、清水用水容器を取水用リザーバーより上になるように持ち上げて気泡を除去します。)

警告 水をろ過する際、清水用の水容器が汚染されないように、汚れた水やろ過していない水がからないようにしてください。

3. AUTOFLOWシステムを収納して保管する 1. システム内の水を完全に抜きます。2. 清水側カバー(P)を汎用ボトルアダプター(M)に再度取り付けます。3. ホースをフィルターカートリッジ(I)に巻きつけます。(注意: 旅行中の保管は、二次汚染が起こらないよう、すべての部品(リザーバー、ホース、カートリッジ、アダプター)を接続したままにしてください。) 4. 取水用リザーバー(L)をフィルターカートリッジとホースに巻きつけ、収納袋に入れます。フィルターを長期間保管する前または長期間保管した後、あるいはフィルターを連続15日以上使用した後は、必ずフィルターを消毒してください。ステップ5を参照してください。

警告 フィルターカートリッジは、決して低温(0°C以下)で保管しないでください。フィルターが凍結すると内部の繊維が損傷し、元に戻りません。フィルター部分は、必ず洗ってから乾燥させてください。

4. フィルターカートリッジをバックフラッシュする 最適な流量が維持できフィルターの寿命が延びるよう、フィルターカートリッジ(I)は、定期的(8 Lごとに)に(水が濁っていたり茶色の場合はさらに頻繁に)バックフラッシュする必要があります。1. MSRが推奨する水容器に、ろ過した水を最低1/2 L集めます。2. 取水用ホース(K)をクイックディスコネクト接続金具オス(F)から外します。3. 清水用水容器をフィルターカートリッジより上になるよう持ち上げ、その中の水をフィルターを通して逆流させ、クイックディスコネクト接続金具オスから排出します。4. 最低500 cc程度の水を流し、フィルターカートリッジに残っているゴミを取り除きます。AutoFlowシステムを長期間保管する方法については、ステップ5を参照してください。

5. フィルターの消毒 バクテリアやカビの繁殖を防ぐために、フィルターを長期間保管する前または長期間保管した後、あるいはフィルターを連続15日以上使用した後は、必ずフィルターを消毒してください。1. クイックディスコネクト接続金具オス(F)を取水用リザーバー(L)から外します。2. 取水用リザーバーをきれいな水ですすぎます。リザーバー内のプレフィルタースクリーン(E)のゴミを取り除きます。3. 清水用水容器をフィルターカートリッジより上になるよう持ち上げ、ここに家庭用漂白剤を2滴ほど入れます。4. AutoFlowシステムを組み立てます。シャットオフクランプ(N)を閉じて水流を停止します。清水用ホース(O)(または汎用ボトルアダプター(M))の端をシンクに置きます。取水用リザーバーをシンクより上に持ち上げます。5. シャットオフクランプを開き、漂白剤が入った水をシステムを通してシンクに流します。6. AutoFlow浄水器の各部品を自然乾燥させるか、水気をタオルで拭き取ります。(注意: 漂白剤水溶液が有害な微生物の増殖を防ぐため、フィルターカートリッジの内側を完全に乾燥させる必要はありません。) フィルターを完全に乾燥させることにより、落とした場合の損傷や凍結による損傷を防ぐことができます。殺菌後にフィルターを完全に乾燥させるには: フィルター両側の灰色のゴムカバーを外します。白と黒のネジ式差込口を両方とも外し、フィルターを室温に最低1週間置きます。二次汚染を防ぐため、白と黒の差込口は必ず元の位置に戻して取り付けます。ゴムパッキンは忘れずに取り付けてください。7. AutoFlowの部品を収納袋に入れて保管します。

警告 カビ類やバクテリアの繁殖を防ぐために、長期保管の前に必ずフィルターを消毒してください。高温により損傷したり溶解したりする可能性があるため、部品の消毒には食器洗浄機や電子レンジは、絶対に使用しないでください。

6. フィルターが正しく機能しているかどうかのテスト フィルターのテスト方法: 1. 最低500 cc程度の水を逆方向に流します。2. 清水側クリーンホースの端を取り外します。3. 空気を吹き込んでチェックします。フィルターを通して空気が吹き込めない = フィルターは機能していません。泡がたくさん出る = フィルター破損! 使用できません! カートリッジを交換してください。

7. その他のろ過方法 水をろ過する際に二次汚染が起きないように、以下のろ過方法を推奨します。

MSR® 汎用ボトルアダプター - ねじ込み式 (MSR® Dromedary™ バッグ、Nalgene® ボトル、等)の場合: 清水側カバーを外します。汎用ボトルアダプターをバッグあるいはボトルの口にねじ込みます。取扱説明書のステップ1~3に従ってください。水がろ過されて溜まったならば、バッグあるいはボトルのキャップをします。清水側カバーを取り付けてから保管します。

MSR® 汎用ボトルアダプター - 押し込み式 (Platypus® Hoser™、Sigg® ボトル、等)の場合: 清水側カバーを外します。汎用ボトルアダプターをボトルの口に押し込みます。取扱説明書のステップ1~3に従ってください。水がろ過されて溜まったならば、ボトルのキャップをします。清水側カバーを取り付けてから保管します。

MSR® 汎用ボトルアダプター - ドリンクチューブ(Platypus®, CamelBak® ハンズフリーハイドレーションシステム)の場合: バイトバルブを外して清潔な場所に保管します。ハンドレーションドリンクチューブを汎用ボトルアダプターに取り付けます。取扱説明書のステップ1~3に従ってください。水がろ過されて溜まったならば、バイトバルブを元のように取り付けます。清水側カバーを取り付けてから保管します。

限定保証の詳細については、msrgear.com/warranty をご覧ください。

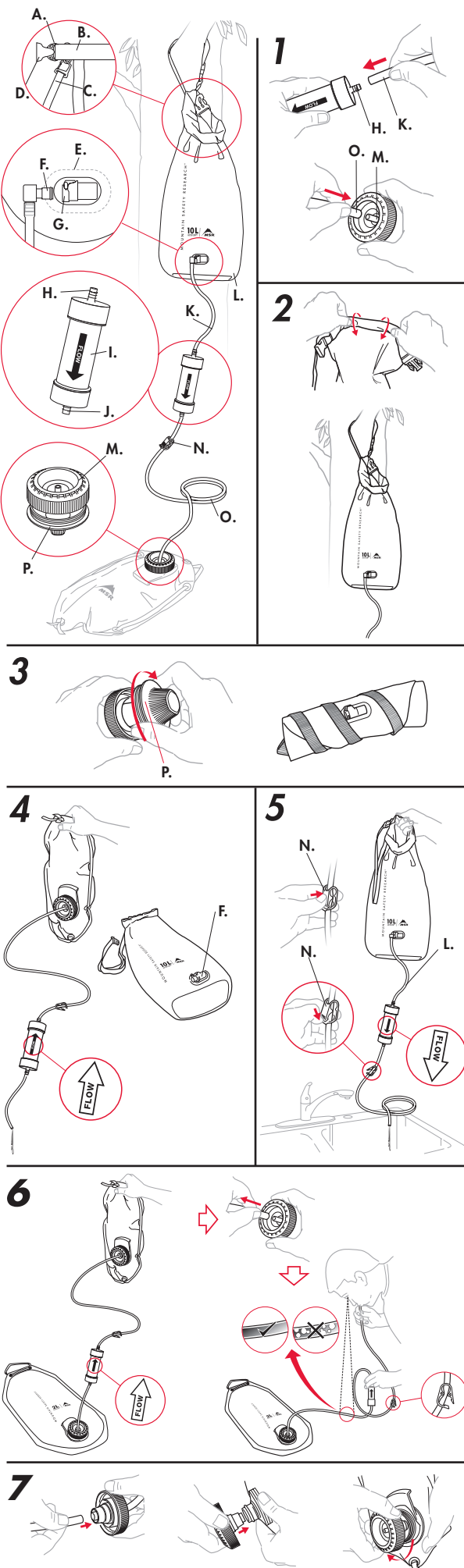
トラブルシューティングには、こちらをご覧ください:
msrgear.com/autoflow-gravity-filter

INSTRUCTIONS FOR 2L, 4L & 10L MODELS.



AUTOFLOW™ GRAVITY MICROFILTER

Retain these instructions for future reference.



Cascade Designs, Inc.

4000 First Avenue South | Seattle, WA 98134 USA
Cascade Designs, Inc., USA - 1-800-531-9531 or 206-505-9500
Cascade Designs, Ltd., Ireland - (+353) 21-4621400
www.msrgear.com | info@cascaadedesigns.com